

総会報告

日時 平成22年6月2日(水)

午前10時より

会場 江戸東京博物館

一階ホール

出席者 正副会長、常任理事、

理事、監事、代議員

132名

司会・進行 総務部長 入子祐三

黙祷

1、開会の辞 副会長 橋本正範

2、国歌斉唱 指揮・中原慎三

3、全連退「綱領」の唱和

主唱 総務 大野幸男

4、会長挨拶 廣瀬 久

5、来賓祝辞

○文部科学大臣 川端達夫様

(代理) 初等中等教育局視学官

三好仁司様

○全国校園長会長代表

全日本中学校長会

会長 新藤久典様

○来賓紹介

事務局長 徳永裕人

6、議長選出

前日の理事会で平間吉春、大

山 陸の両副会長を選出

7、議事

第1号議案

平成21年度会務報告

総務部長 入子祐三

第2号議案

平成21年度会計報告

・決算報告 会計部長 白石裕一

・監査報告 監事 齋藤昭次

第3号議案

その1 監事の承認

沖中 忠男(三重)

その2 副会長の退任と就任

(東海北陸地区)

飯田 宗映↓小西 優

(中国地区)

佐藤 博文↓平岩 武

(九州地区)

中村 貞夫↓山下 玄洋

第4号議案

平成22年度目標案・事業計

画案

各部長・委員長から提案

第5号議案

平成22年度予算案審議

会計部長 白石裕一

(P11~12)



第6号議案

宣言・決議の採択 (P7)

読み上げ 副会長 太田 秀

※各提案は原案通り承認され

ました。

8、感謝状並びに記念品贈呈

(本頁 四段目 記載)

9、閉会の辞 副会長 小西 優

感謝状及び記念品贈呈者

(1)

退任副会長

飯田 宗映様

(東海北陸地区)

佐藤 博文様

(中国地区)

中村 貞夫様

(九州地区)

(2)

退任理事

小堀 恒男様(宮城)

東 哲郎様(福井)

船 平様(岐阜)

加 善章様(愛知)

大 文治様(愛知)

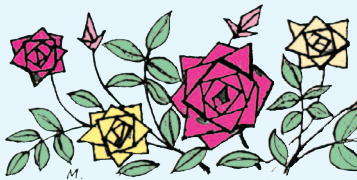
松 義勝様(愛媛)

結 靖夫様(福岡)

河 利雄様(大分)

下 昌道様(宮崎)

尾 穂様(鹿児島)



記念講演(午後一時～一時三十分)  
講師紹介

講師 江戸東京博物館

館長 竹内 誠 先生

演題 「江戸の伝統文化に学ぶ」



協会 会長、江戸東京博物館  
館長、などを務める。

• 主な著書・編著「寛政改革の  
研究」(吉川弘文館)・「元禄

人間模様」(角川書店)・「江

戸の盛り場・考」(教育出版)・

「文化の大衆化」(中央公論

社)・「江戸談義十番」(小学

館) など多数。

• このほかNHK大河ドラマ、

金曜時代劇などの時代考証を

担当した。

講演内容の概要

1 二二〇年の徳川の平和

そのことが、江戸時代の文

化の形成にどのような影響を

及ぼしたのか。

2 江戸の暮らしと心

(1)自然との共生

——スローライフ——

(2)人との共生——思いやり・

ゆずり合いの心——

幕末から明治初期に日本で

活躍した外国人の眼をとおして

日本人の国民性の特徴を描写。

3 行動文化——名所めぐりと

共に食を楽しむ——

『世事見聞録』の一部を抜  
粋して、江戸の女性の生活の  
様子を語る。

4 江戸文化の基盤

(1)手作り文化の極致

『シユリーマン旅行記』の

中からの引用として、「日本

人は、工芸品において蒸気機

関を使わずに達することので

きる最高の完成度に達してい

る」と紹介

(2)寺子屋の普及——世界一の

識字率——

同じくシユリーマンの文章

から「教育はヨーロッパの文

明国家以上にも行き渡ってい

る。清国をも含めてアジアの

他の国では女たちが完全な無

知の中に放置されているのに

対して、日本では、男も女も

みな仮名と漢字で読み書きが

できる」ということを紹介。

5 花開く江戸文化

(1)錦絵の誕生(多色摺り版画)

(2)川柳の誕生(ユーモア、人

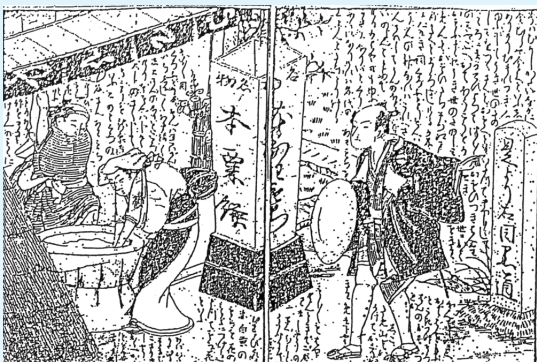
情の機微)

(3)黄表紙の誕生(大人のマンガ)

・恋川春町「金々先生栄花夢」  
安永四年(一七七五年)刊  
・唐来参和「莫切白根金生木」  
天明五年(一七八五年)刊

恋川春町「金々先生栄花夢」

冒頭シーン



☆講演内容は次号に掲載します。

〔訂正とお詫び〕  
前会報(175号)P2  
「提言」の副会長橋本正範  
様の地区を「中国地区」と  
誤記いたしました。正しく  
は「四国地区」です。お詫  
びして訂正いたします。